

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 6 日

事業名称		交通安全施設管理費 [交通安全施設維持管理事業]									
予算科目	款 8	土木費	項 2	道路橋りょう費	目 1	道路維持費	事業番号	3			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	土木		課	交通安全対策			係	課長名	寺島 由紀夫		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 4			
【施策名】 道路・交通の整備							総合計画書 (ページ)	89			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・市道の道路附属物等の交通安全施設				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ・市道の道路附属物等の交通安全施設						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・交通安全施設の整備と適切な維持管理により、安全に通行できる道路とする。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ・交通安全施設を整備、修繕した数						
	③ そのために何をしましたか。 ①道路反射鏡補修 ②区画線補修 ③交差点鉸補修 ④カラー舗装補修 ⑤その他施設等の補修 ⑥道路反射鏡の清掃 ※通学路合同点検、その他点検・要望等の実施				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①道路反射鏡補修数 ②区画線補修数 ③交差点鉸補修数 ④カラー舗装補修数 ⑤その他施設等の補修数 ⑥道路反射鏡の清掃数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	—	—	—	—					
	成果指標	②の数値	箇所基	整備 135 清掃 636	整備 190 清掃 1,252	整備 190 清掃 1,262					
	目 標	②の目標値									
		目標値設定の考え方									
活動指標		③の数値		①道路反射鏡補修7基 ②警戒標識補修2基 ③区画線補修 4,986.40m(85路線) ③交差点鉸補修9基 ④カラー舗装補修 114.38㎡(11路線) ⑤その他施設等の補修 21件⑥道路反射鏡の清掃 636基	①道路反射鏡補修4基 ②区画線補修 7,800.49m(127路線) ③交差点鉸補修5基 ④カラー舗装補修 211.83㎡(25路線) ⑤その他施設等の補修29件 ⑥道路反射鏡の清掃 1,252基	①道路反射鏡補修 13基 ②区画線補修 5,807.83m (63路線) ③交差点鉸補修 5基 ④カラー舗装補修 赤舗装 14.1㎡(2路線)、グリーンパ 463.1m(9路線) ⑤その他施設等の補修 29件 ⑥道路反射鏡の清掃 1,262基					
3 経費	事業費(実績)		円	11,105,136	18,755,418	12,913,365	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	11,105,136	18,755,418	12,913,365					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.65	0.65	0.65					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	5,358,600	5,401,500	5,447,000					
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	16,463,736	24,156,918	18,360,365						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化		東大和市交通安全計画(平成28年度～平成32年度)のⅡ分野別施策、第1章 「道路交通環境の整備」 3交通安全施設等の整備に基づき、安全で快適な道路交通環境の整備に努めている。								

事業名称	交通安全施設管理費 [交通安全施設維持管理事業]			
担当部署・課長名	土木	課	交通安全対策	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 通学路の合同点検を実施する中で、交通安全施設の改修点等の要望箇所を伺った。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：①共催（通学路合同点検）		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 整備や修繕の単価がアップし、今までの予算規模では十分な対策ができないことから、予算を確保する必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 厳しい財政状況の中、予算の増額を要求したが前年並みの予算計上となってしまった。限られた予算の中で効果的な施設修繕等に努めた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 整備や修繕の単価がアップし、これまでの予算規模では十分な対策ができないことから、引き続き適正予算を確保する必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 道路・交通の整備 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 市道の定期的な点検をはじめ、通学路合同点検、その他市民等からの要望により、市道の道路附属物等の交通安全施設の適正な維持管理に努めていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 年々、経費が増大しているにもかかわらず、予算の計上の拡大が認められない状況があるため、予算拡大の獲得に努めるとともに、少ない経費でより効果的な整備・修繕に努めていく。			